

2017年度 科学技術の倫理を考える特別シンポジウム

# 科学者は産業活動にどうコメントすべきか？

## ～化学者がみずから決めた規範と実際～

水素水商品やキュレーションサイトなどのニュースでは、科学的情報の正確性が問題視されました。このような科学的な情報を根拠にすべき課題に科学者はどうコメントすべきでしょうか。日本化学会が決めた行動規範の成り立ちを振り返り、産業応用までの情報流通に科学者がどう向き合うべきか考えます。



### 2017年7月7日(金) 13:30～18:00

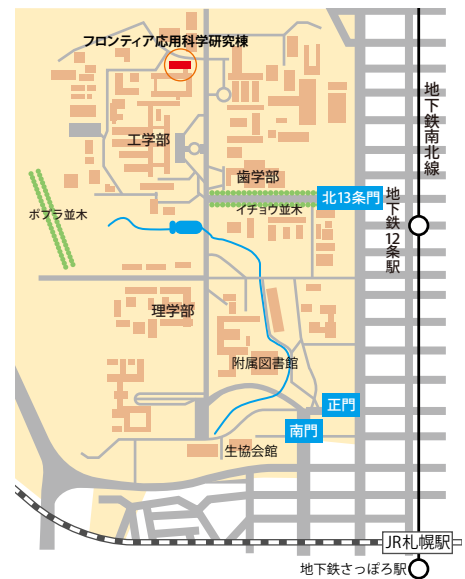
開場 13:00・参加無料・当日先着順・広く市民の方の参加も歓迎します

13:30	物質科学リーディングプログラムの目指すもの	石森浩一郎	北海道大学 理学部長・大学院理学研究院長・教授 (Ambitious リーダー育成プログラム・コーディネーター)
13:40	科学者への社会の素朴な期待	内村直之	北海道大学 CoSTEP 客員教授 / 元朝日新聞科学部記者 / 元メディカルアサヒ編集長
14:00	化学者の社会への誓い ～日本化学会の会員行動規範制定プロセス～	菊地重秋	科学史家 / 中央大学・埼玉学園大学 非常勤講師
14:30	休憩		
14:45	科学論文の射程と科学者コメントの影響 ～水素水の研究成果を例に～	太田成男	日本分子状水素医学生物学会 理事長 / International Molecular Hydrogen Association President / 順天堂大学大学院 医学研究科 客員教授
15:15	科学的な情報へのコメント ～メディアとの関係～	唐木英明	食の安全・安心財団理事長 / 食品安全委員会専門参考人 / 日本学術会議元副会長
15:45	学者自らの情報発信と組織としての広報活動	森田洋平	沖縄科学技術大学院大学 (OIST) 広報担当准副学長
16:15	休憩		
16:30	総合パネル 科学者への市民社会の期待と実際	ファシリテーター 論点パネリスト 化学者パネリスト	内村直之 菊地重秋、太田成男、唐木英明、森田洋平 七澤淳 (北海道大学 大学院 理学研究院 客員教授 Ambitious リーダー育成プログラム・産学連携科目担当)
17:50	総括コメント 倫理と広報、組織と研究者	南波直樹	科学技術広報研究会 (JACST) 副会長 / 北海道大学 国際連携機構 グローバルリレーション室 国際オフィサー
18:00	シンポジウム終了	※懇親会への参加希望者はお問い合わせください。	

総司会: 黒田紘敏 北海道大学 大学院 理学研究院 特任准教授 (Ambitious リーダー育成プログラム・数理連携科目担当)

### 北海道大学

フロンティア応用科学研究棟  
 鈴木章ホール (札幌市北区北13条西8丁目)



主催: 北海道大学 物質科学フロンティアを開拓する Ambitious リーダー育成プログラム (ALP)

共催: 北海道大学 高等教育推進機構 オープンエデュケーションセンター 科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP)  
 科学技術広報研究会 (JACST)

問い合わせ: リーディングプログラム事務局 TEL: 011-706-3359 E-mail: ethics@sci.hokudai.ac.jp